

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2974号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

1/24

平成24年
(2012)
(毎週火曜日発行)

冷蔵倉庫 電力不足問題に懸念 昨年以上の対応必要か

日本冷蔵倉庫協会の村井利彰会長は東京冷蔵倉庫協会との新年賀詞交歓会で、今夏の電力不足問題に言及。「昨年以上の対応が求められる可能性がある」とを不唆した。

原発の再稼働

見通し厳しく

昨年、東北電力および東京電力管内で実施された電力使用制限では、冷蔵倉庫の社会インフラとしての役割が認められ、使用最大電力の削減率を五%とする特例措置がとられた。

一方、今夏は原子力発電所の再稼働の見通しが厳しく、電力不足が全国に広がる懸念される。「夏場の入出庫管理といった省エネへの新たな取り組みが必要になるかもしれない」(村井会長)。

また電気料金は冷蔵倉庫のコストの約一割を占めており、今後の値上がりも「業界にとって頭の痛い問題」(同)となっている。

(藤本 裕子)